

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼっぼハウス②			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 11月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日 ～ 2024年 10月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学齢にあった支援を行っていること 当法人では小学年から高校生まで長期間支援を行っています。同じ法人内ですが、学年が上がることで別の事業所に移動し、3つの事業所を利用できます。	同じ活動でも、活動の難易度や内容をその学齢に合ったものを行っています。 学年が上がり事業所を移動することで、支援場所と支援職員が変わりますのでたくさんの経験をすることができます。また個別支援計画や支援方法などをしっかり事業所間で引継ぎ、本人が戸惑うことがないよう統一した支援ができるよう工夫しています。	各事業所ごとにさらに明確な特色をもてるように取り組んでいます。学年で分かれています、事業所内交流会など他学年との関わる機会も増やしていきたいです。
2	意思決定の支援を、いろんな場面でを行っています。また、年間・月間のカリキュラムが計画され保護者や職員にも伝達されています。	活動の中に自己決定を促す内容を取り入れるように意識しています。年間・月間の予定を立てることで季節ごとの行事が行われ、いろいろな体験ができるよう工夫しています。	あらゆる場面を想定した計画やその結果を振り返ることで、さらに充実した活動を提供できると思います。
3	建物は、放課後等デイサービスを行うために建てられているので、2階へ行くための階段はありますがその他はバリアフリーで活動しやすいです。清潔で心地よく過ごせる環境です。	気持ちの切り替えや休憩ができるスペースがあり、気分が落ち着かない時やクールダウンしたい時に使用し、気持ちを落ち着け感情のコントロールが学べるように工夫しています。また、勉強（宿題）を行うスペースもあります。	事業所が2階にありますので、玄関や踊り場などに死角をつくらないように見守りカメラの設置などをして安全に配慮する工夫をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がありません。	茶話会など定期的に行っていますが、就労している保護者が多く学校行事等が優先されたり、小さいお子さんがいるご家庭もあり参加者が少ないです。開催時間や内容など工夫はしていますが改善できていません。	保護者同士の交流会の設定を考えていきます。また、家族等の参加できる研修や行事の機会や情報提供を行っていきます。
2	児童館との交流や地域の他の子どもたちと活動する機会がありません。	児童館へ遊びに行っていたことはありますが、交流は難しいと感じました。利用児が小学校中・高学年なので、学校と事業所に慣れて人間関係の形成や仲間づくりのためにも交流も必要かと思います。しかし中・高学年になると下校時間が遅くなるため難しくなります。	長期休みのときに交流ができるよう、近隣の児童館に連絡し相談しましたが、児童館の利用人数が多く受け入れていただけないのが現状です。現在は事業所の前の公園で、地域の子どもたちと交流できるようにしています。他の放課後等デイサービス事業所と交流する機会を設けています。
3	下校時間が遅く、設定の活動に参加できない利用児の対応が難しい	設定の活動の時間を、利用児童全員が参加できるようにと考えていますが、あまり遅い時間に設定すると保護者のお迎えの時間になり帰る児童がいます。また、下校後あまり時間が空き過ぎると集中力もなくなってしまいます。	下校時間の遅い児童に対しては、個別に対応できるように工夫した活動を提供していきます。